

鳴瀬川水系河川整備計画の進捗状況 [知事管理区間]

平成26年12月9日
宮城県土木部河川課



1. 鳴瀬川水系における管理区間



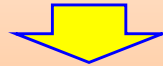
2. 鳴瀬川水系河川整備計画(変更)の策定経緯

平成20年2月 鳴瀬川水系河川整備計画[知事管理区間]の策定

※平成20年1月18日 国土交通省東北地方整備局長 認可, 平成20年2月5日 宮城県告示第101号

平成23年3月 東日本大震災発生

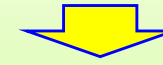
(河口部を中心に甚大な被災発生、流域全体で広域地盤沈下発生)



広域地盤沈下に伴う治水計画の見直しに伴う変更
災害復旧(北上運河・東名運河)事業の整備計画への位置付けに伴う変更

平成25年8月 鳴瀬川総合開発事業、筒砂子ダム建設事業の対応方針決定

(両事業を統合し、筒砂子ダム(規模拡大)と漆沢ダム(既設)との容量再編により田川ダムを中止)



河川整備計画本文の修正

平成26年2月8日 第10回鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会

・鳴瀬川水系河川整備計画【変更】(素案)の提示

平成26年2月8日鳴瀬川水系河川整備計画【変更】(素案)に関する意見募集

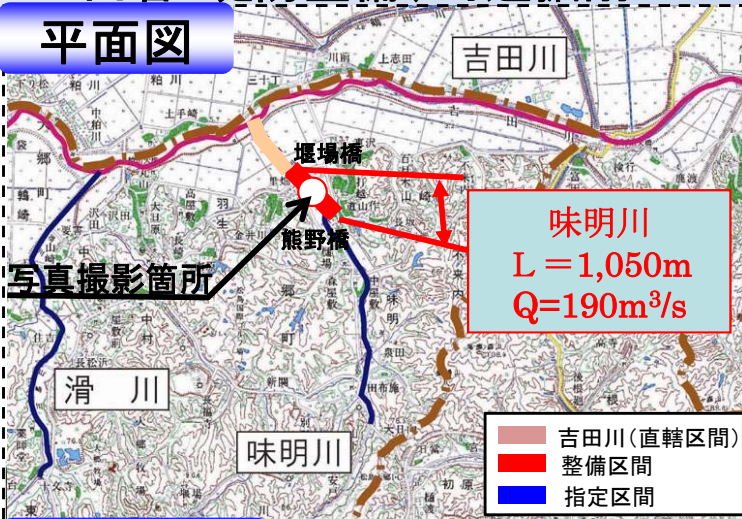
・募集期間:平成26年2月12日～平成26年3月13日

現在、関係機関と協議中であり、今年度内の策定を目指しています

3. 河川整備計画進捗状況(1-①)

- ・味明川では、昭和63年より堤防整備・河道掘削を実施します。一部未改修区間が残っており、目標とする規模の流量を安全に流下させるため、堤防整備・河道掘削を行います。(整備進捗率:約30%(事業費ベース))
- ・今年度は直轄管理境から上流約300m地点において、築堤盛土工(左岸)L=100mを施工しており、今年度に完成する予定です。
 - 区間: 県道大和幡谷線堰場橋～県道小牛田松島線熊野橋
 - 延長: 1,050m
 - 内容: 堤防整備、河道掘削

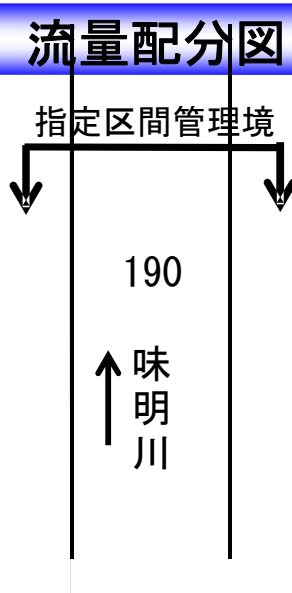
平面図



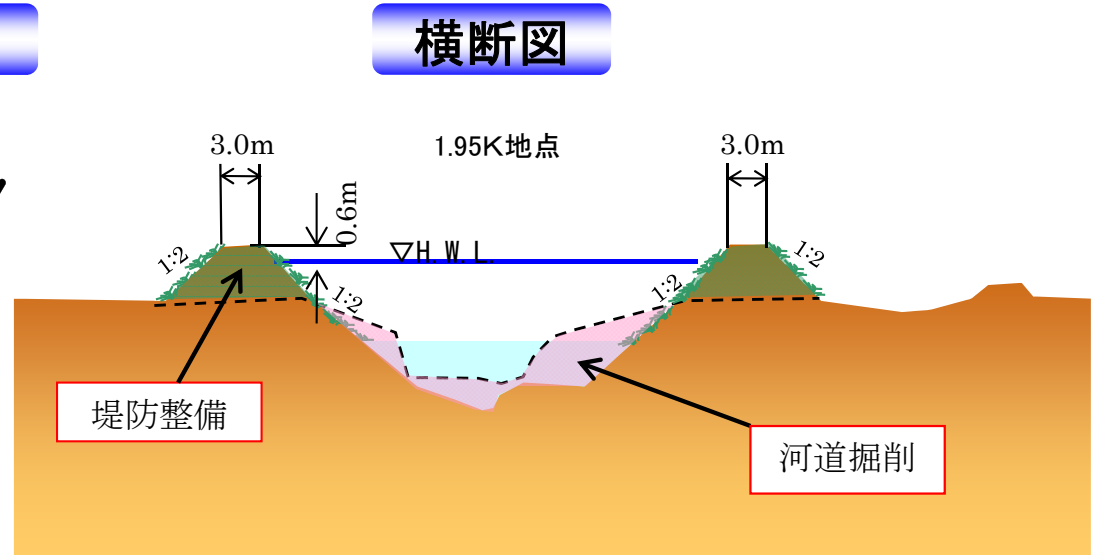
現地写真



流量配分図

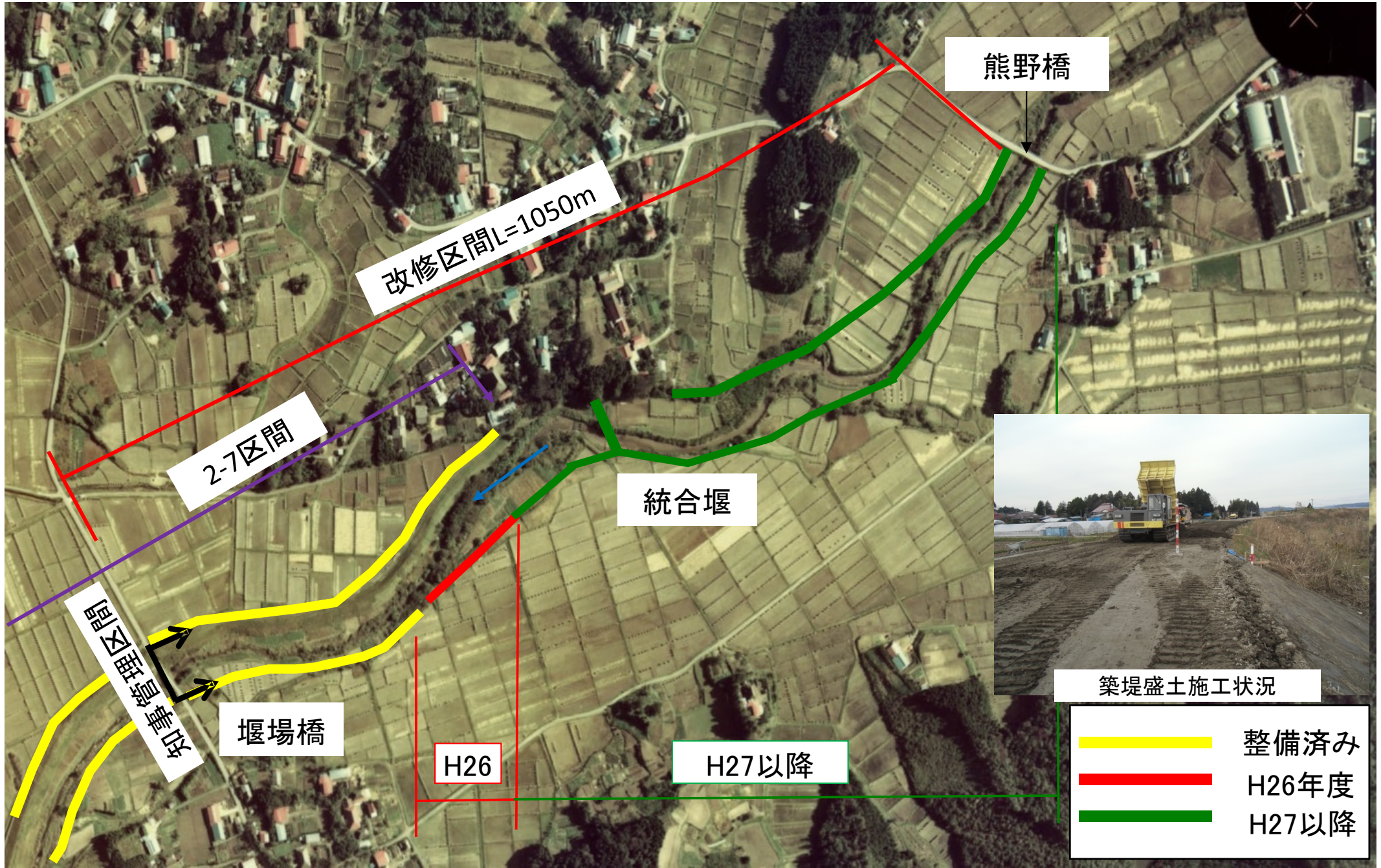


横断面図



※直轄管理境より約1.0km上流地点

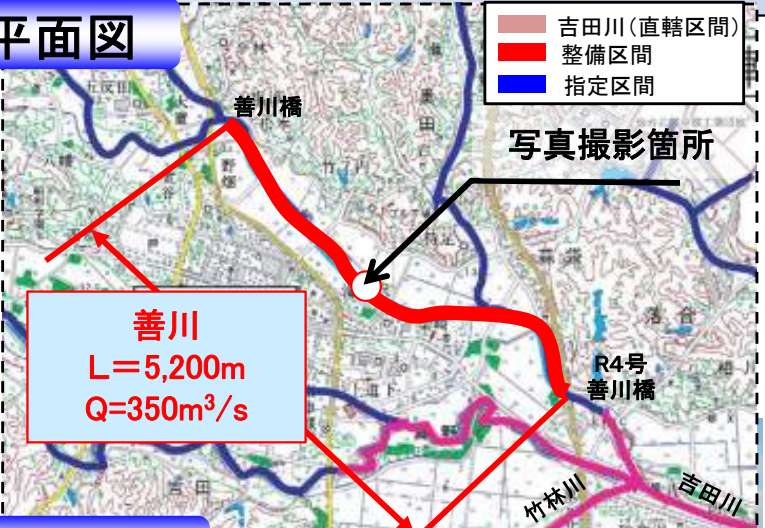
3. 河川整備計画進捗状況(1-②)



3. 河川整備計画進捗状況(2)

- ・善川では、昭和33年より堤防整備(HWL堤)・河道掘削を実施。暫定堤防であり、排水樋門周辺に無堤部が残っていることから、目標とする規模の流量を安全に流下させるため、堤防整備を行うものです。(整備進捗率:約71%(事業費ベース))
- ・排水樋門の地元調整が整わず事業を休止していますが、地元からの協力を得ながら事業再開に向けて準備を進めているところです。
- ・平成25年度には、樋管(N=2基)の設計を実施しています。
 - 区間: 県道三本木大和線善川橋直上流~国道4号善川橋
 - 延長: 5, 200m
 - 内容: 堤防整備

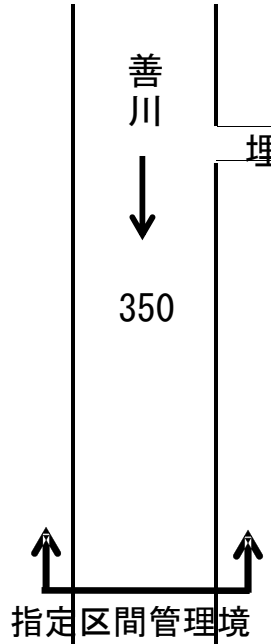
平面図



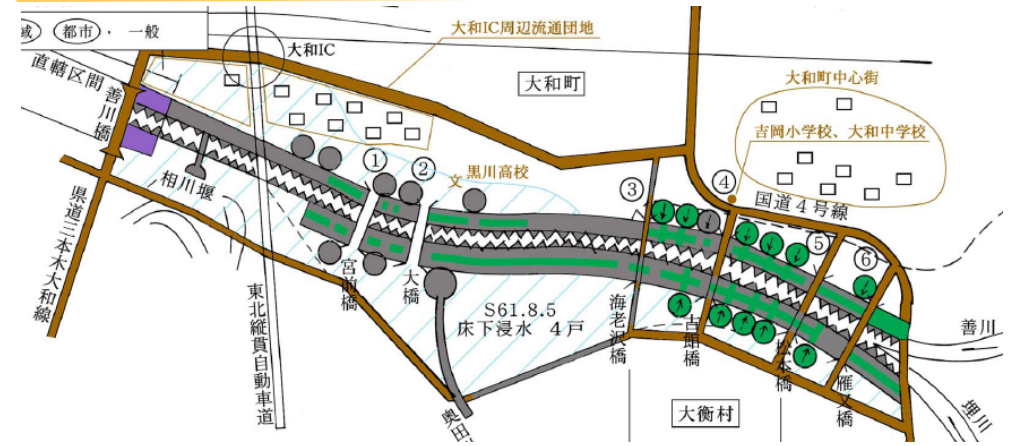
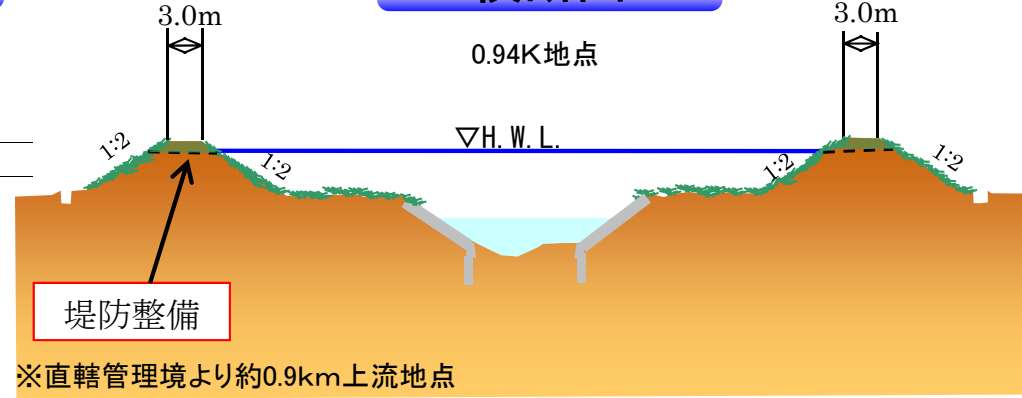
現地写真



流量配分図



横断図



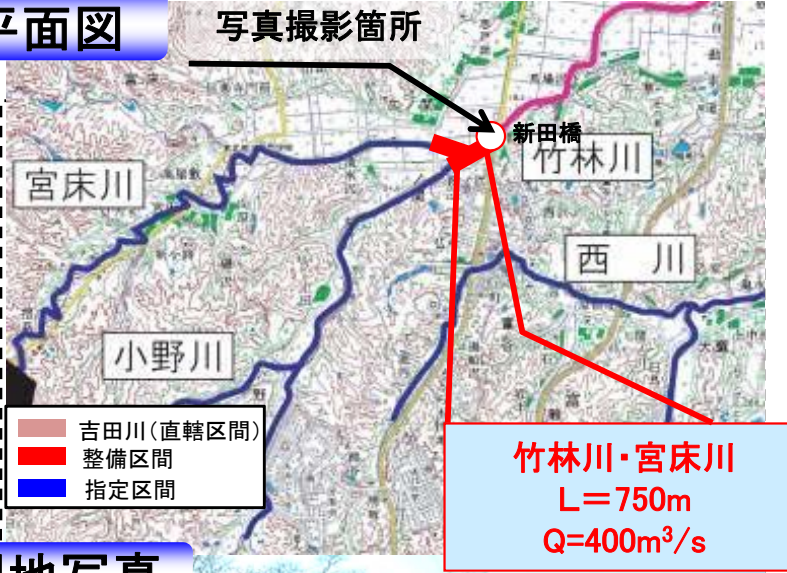
3. 河川整備計画進捗状況(3-①)

【竹林川・宮床川】

・竹林川・宮床川では、昭和33年より堤防整備・河道掘削(暫定掘削)を実施しています。しかし、下流付近に無堤部が残っており、目標とする規模の流量を安全に流下させるため、堤防整備を行うものです。(整備進捗率:竹林川約 28%, 宮床川約46%(いずれも事業費ベース))

- 区間:国道4号新田橋~750m上流
- 延長:750m
- 内容:堤防整備, 河道掘削

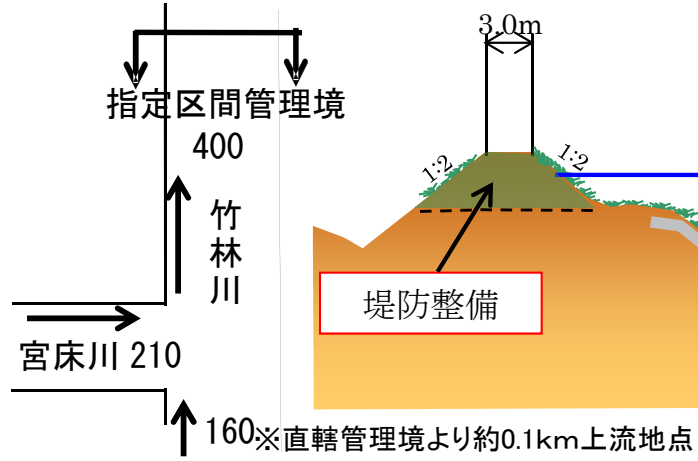
平面図



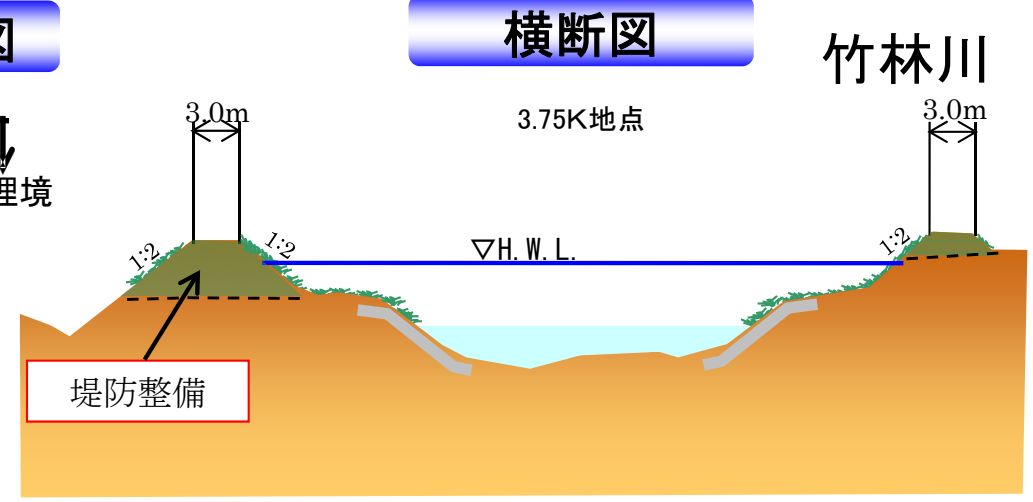
現地写真



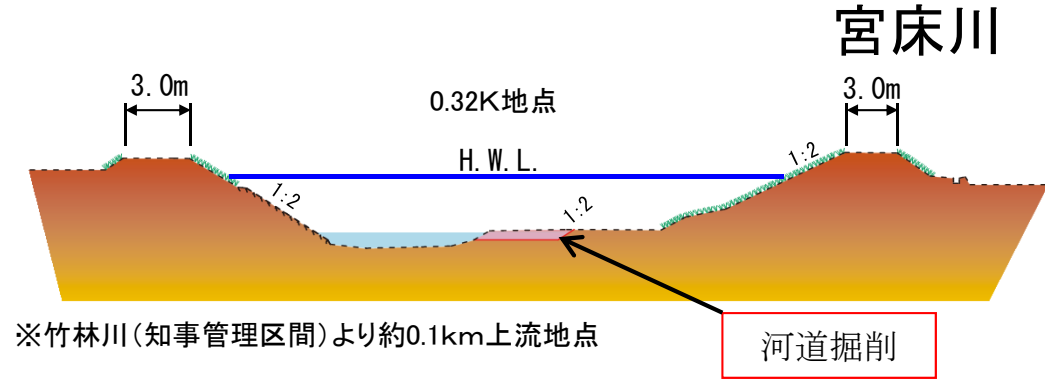
流量配分図



横断図

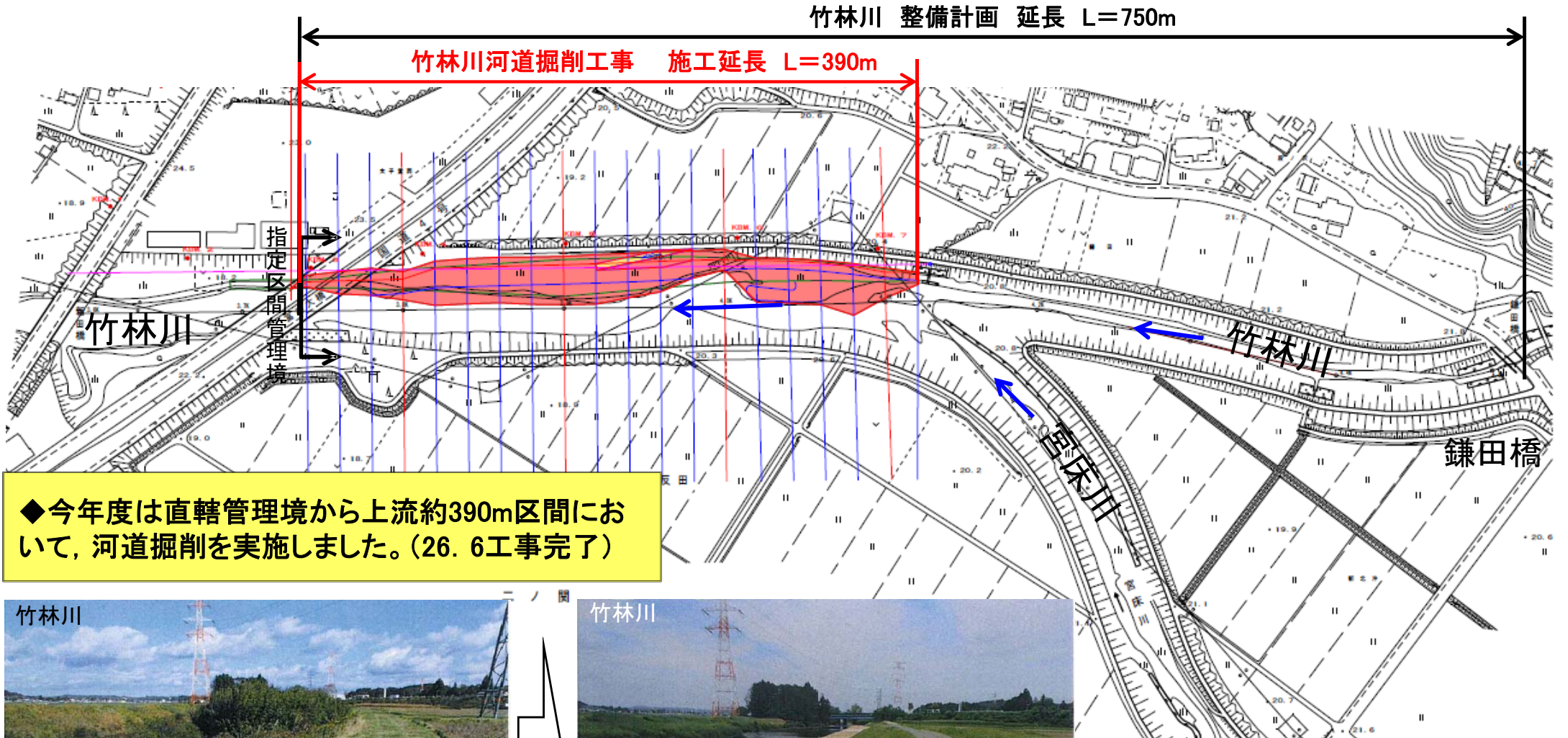


宮床川

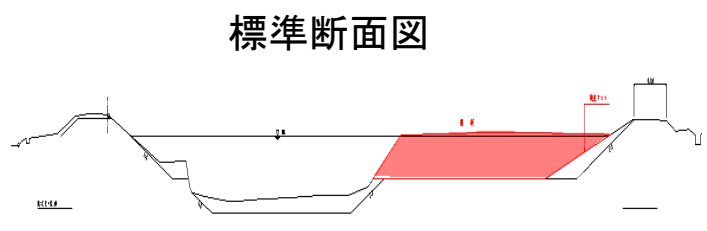
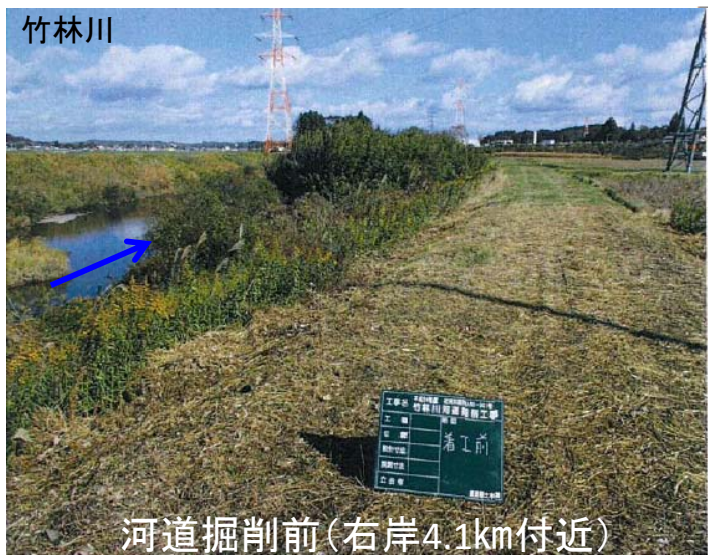


3. 河川整備計画進捗状況(3-②)

【竹林川・宮床川】



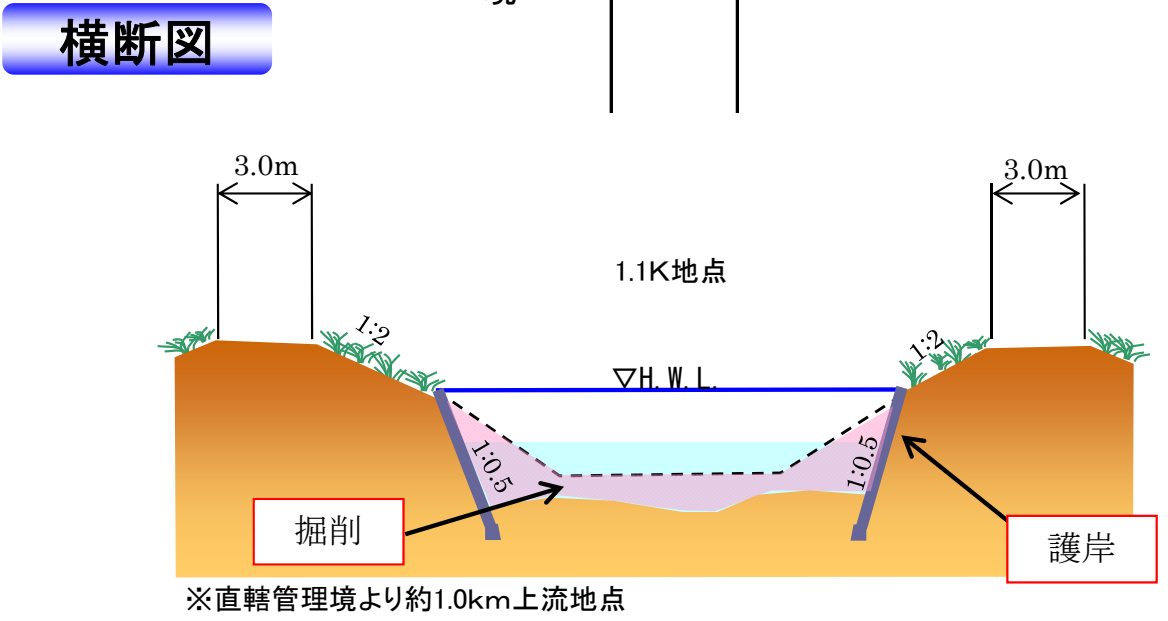
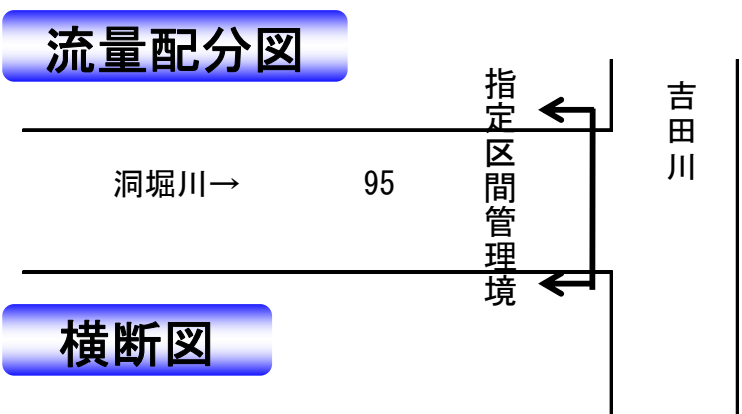
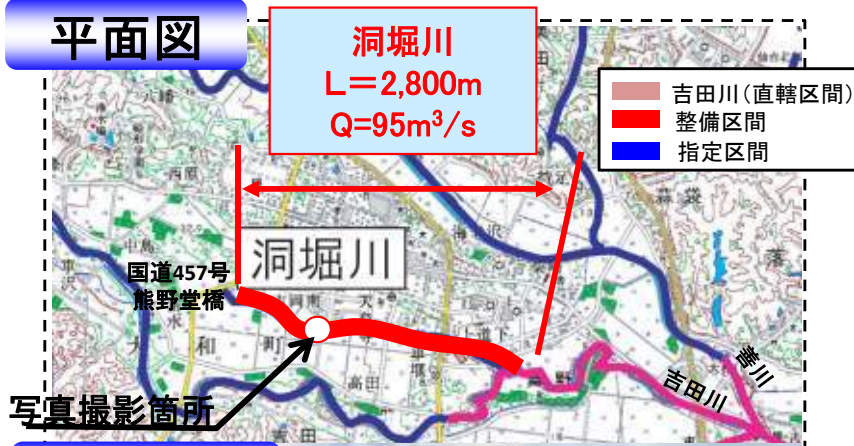
◆今年度は直轄管理境から上流約390m区間において、河道掘削を実施しました。(26. 6工事完了)



3. 河川整備計画進捗状況(4)

・洞堀川では、周辺の土地区画整備事業と連携を図りつつ暫定目標を設定し、昭和59年より堤防整備・河道掘削を実施。目標とする規模の流量を安全に流下させるため、河道掘削及び護岸を整備するものです。(整備進捗率:70%(事業費ベース))

- 区間: 吉田川合流点～国道457号熊野堂橋
- 延長: 2,800m
- 内容: 堤防整備、河道掘削



4. 河川の維持管理状況

○河川の巡視

県管理河川では、管理区分を設定し、区分に応じた河川パトロールを実施しています。また、異常箇所のある正確な位置の確定や定点観測を行うために、河川距離標の設置に順次取り組んでいます。

○堤防の維持管理

河川カルテ及び維持管理計画に基づく計画的な維持管理を実施しています。さらに、堆積土砂マップや支障木マップを作成し、河川毎の特性に応じた効率的な維持管理に取り組んでいます。



5. 河口部の復旧状況

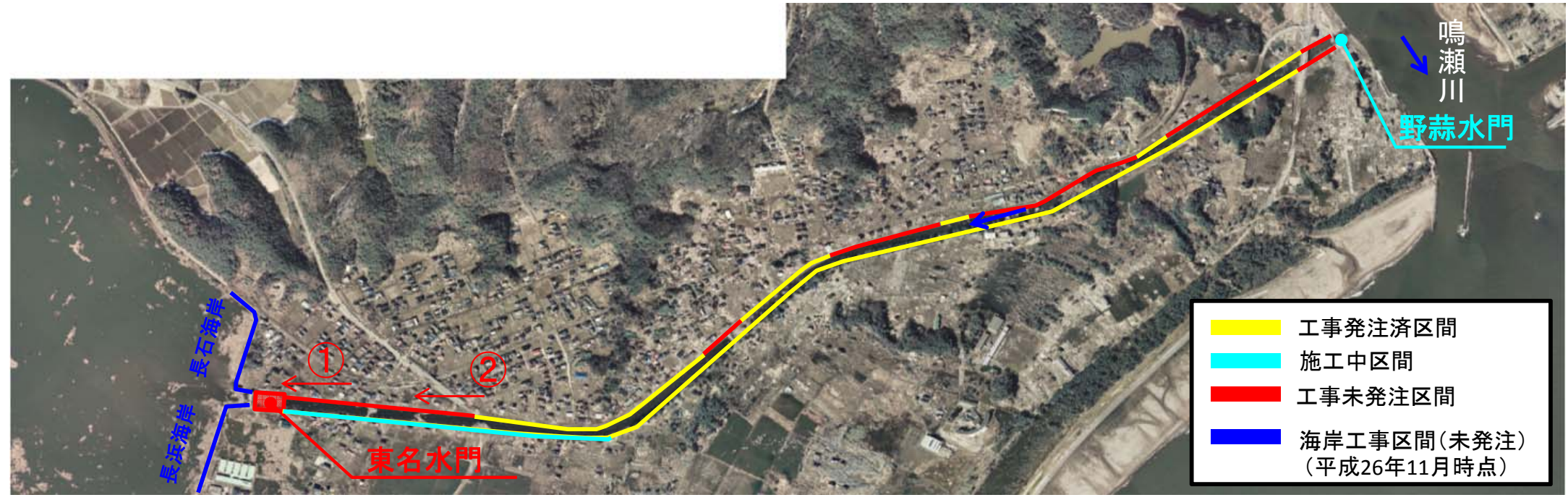
【北上運河・東名運河】

◆ 東北地方太平洋沖地震により壊滅的な被害を受けた河口部においては、洪水に加え高潮及び津波による被害を防止又は軽減を図るために、北上運河及び東名運河の災害復旧を実施しています。

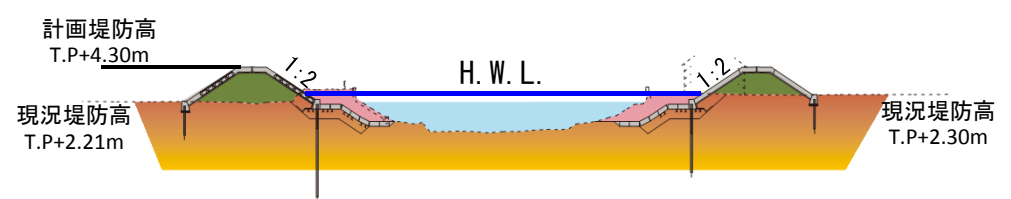


5. 河口部の復旧状況(1)

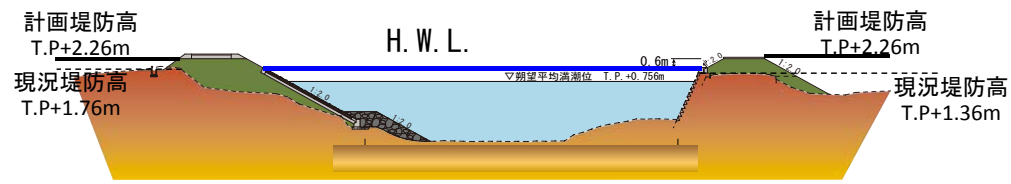
- ◆ 復旧延長約4.5kmのうち約87%(復旧延長ベース)の工事を発注しており、現在護岸工を施工中です。(事業進捗率は約16%(出来高ベース))
- ◆ 平成29年3月末の完成を予定しています。



【松島湾～東名水門】



【東名水門～野蒜水門】



①仮締切工(左岸:H26.11月)

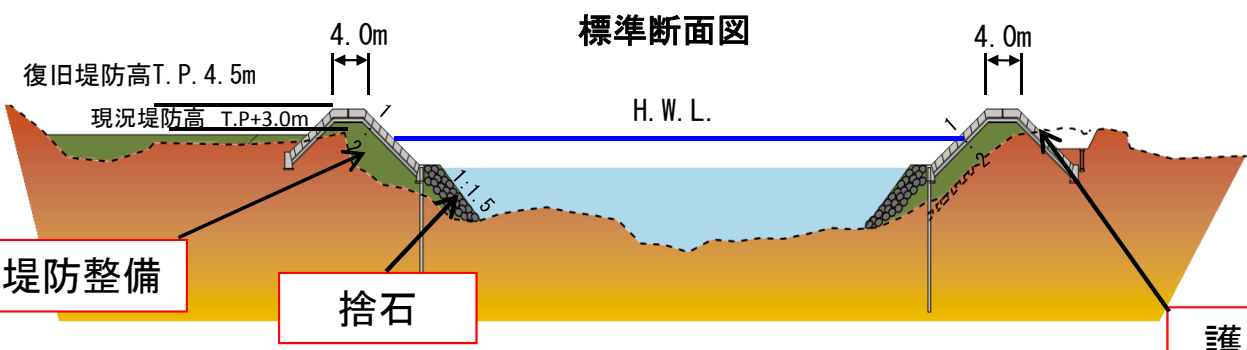


②継足し護岸工(左岸:H26.11月)

5. 河口部の復旧状況(2)

【北上運河】

- ◆ 全区間の復旧工事を発注しており、現在築堤護岸工事を施工中です。(事業進捗率:約42%(出来高ベース))
- ◆ 平成28年3月末の完成予定です。



①護岸ブロック工(右岸:H26.10月)



②捨石工(左岸:H26.10月)



③鋼矢板打設工(左右岸:H26.10月)

※上記は、災害復旧工事におけるNo10の断面を使用

6. 震災後の環境調査結果

- ◆鳴瀬川(知事管理区間)では、平成5年度から5年毎に「河川水辺の国勢調査」に基づき魚類調査を実施しています。
- ◆H25年度調査では、過年度同様に国外外来種は確認されておらず、また魚類相に大きな変化はないことから、良好な自然環境が保たれていると判断できます。
- ◆東名運河における災害復旧事業に伴う自然環境への配慮を検討するため、H25年度に環境調査(昆虫・魚類・底生生物・植物)を実施しています。
- ◆運河の環境変化は現時点でも収束していない状態であるため、今後継続的なモニタリングが必要です。

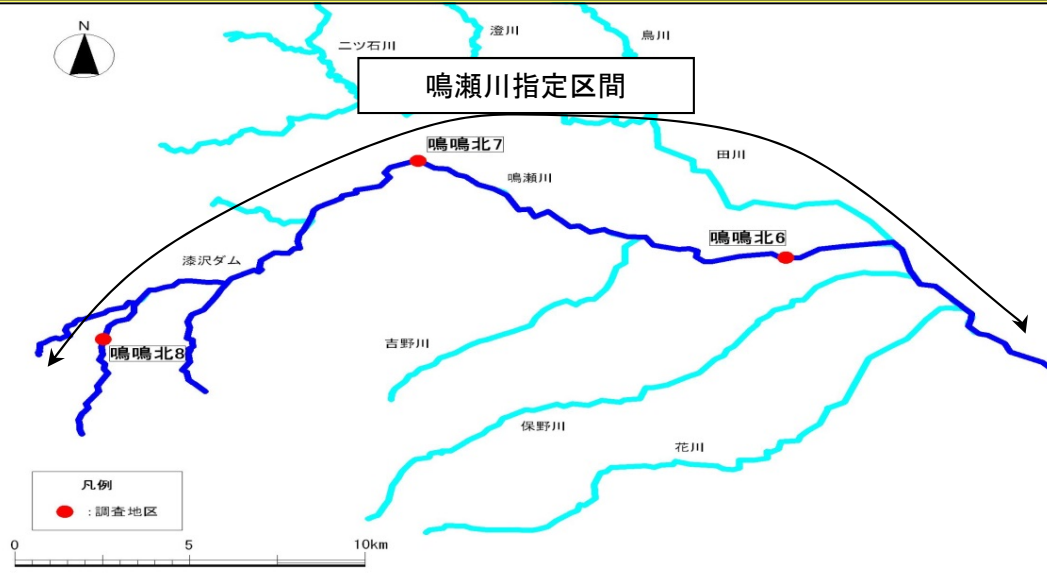


図 1-3-3 震災前 植生図 (自然環境保全基礎調査：2007)

| | | |
|--|---|---|
| | | |
| 鳴鳴北6 (明神堰上流付近) | 鳴鳴北7 (水芋地区付近) | 鳴鳴北8 (漆沢ダム上流付近) |
| 明神堰上流に湛水域があり、右岸、左岸にワンドが存在する。底質は砂礫、砂泥であり、中流から上流の魚類相の把握が期待できる。 | 淵、早瀬、平瀬からなり、河道には岩が点在し、漆沢ダム下流部の魚類相の把握が期待できる。 | 淵、平瀬、早瀬からなり、最下流に砂防堰堤がある。河道には岩が点在し、漆沢ダム上流部の魚類相の把握が期待できる。 |



図 1-3-4 震災後 植生図 (環境省：2012)